



恒久平和への祈りが結集!
次世代へ、世界へつなげる平和への想い!

平和への思いや願いの火を絶やさず、次世代に伝えていこう!

連合長野では、国民運動・環境委員会(小林和雄委員長・連合長野副会長・農団労)を中心に、平和4行動への団員派遣、折り鶴献納の取り組み、北方領土返還署名など、年間を通じて平和運動の取り組みを行っています。また、6月から9月にかけて、各地域協議会においても趣向を凝らした様々な平和行動を実現しています。こうした取り組みの目的は、戦争の悲惨さを肌で感じていただき、学んだことを広く語り継いでいくことです。今号では、2018年度の平和運動の取り組みについてご報告いたします。

○2018連合長野平和行動 in 沖縄・広島・長崎・根室

連合長野は、平和活動の一環として、「平和行動in沖縄」(6月23日～25日)に、高橋副会長を団長に6名を、「平和行動in広島」(8月4日～6日)に、村田副会長を団長に親子代表団15名(子ども6名)を、「平和行動in長崎」(8月8日～10日)に、師玉副会長を団長に8名を、派遣した。「平和行動in根室」(9月8日～10日)についても、和田副会長を団長に8名の派遣を予定していたが、9月6日に発生した「北海道胆振東部地震」により中止となった。

派遣団員からは、「連合2018平和オキナワ集会、戦跡をたどるピースフィールドワークへの参加を通じ、激戦の地“沖縄”では、米軍基地問題も含め、今もなお戦争の爪痕が残り、被害や苦しみが続いていることを実感した」、「連合平和ヒロシマ集会や平和祈念式典、ピースウォークなどで、平和とは何か、平和を大切にすることはどういうことなのかの切実な思いに触れ、自らも声をあげ、伝え拡げていくことの重要性を実

感した」、「被爆地長崎で、1998年から“微力だけど無力じゃない”を合言葉に高校生平和大使が毎年署名活動を継続し、国連に届けていることが胸に残り、核廃絶や平和への思いを伝えるために“地道に行動していく”ことの大切さを知った」などの感想が寄せられており、こうした悲劇を二度と繰り返さないために、参加者一人ひとりが平和行動の重要性と、学んだことを語り継ぐ必要性を感じとる取り組みとなった。



沖縄平和行動



広島平和行動



長崎平和行動

○参加した団員からの感想を広く伝える取り組み

沖縄

平和行動

…………… 団員—太田 章一さん(電機連合 山洋電気労組上田支部)

以前、広島での平和行動に参加させていただきましたが、今回参加した沖縄は広島とはまるで違う印象を受けました。

唯一の地上戦の地で様々な爪痕を見たことはもちろんですが、いまだに続く基地問題によって、どんなに時間が過ぎても戦争の記憶が薄れることがない現状と、常に付きまとう緊張感を目の当たりにしました。戦争を

経験していない世代とはいえ、基地問題はどことなく他人事と思っていた自分がとても情けなくなりました。

現状に目を背けず、戦争がなくなり基地など要らない世界になるよう行動していかなければならないと改めて思いました。



旧海軍司令部壕

広島

平和行動

…………… 子供団員—裏 史玖さん(小学5年)

8月6日 広島に原爆が落とされ、たくさんの方が亡くなった。原爆はおそろしいということを感じました。ガラスビンがとけるほどの熱い中に人々がいたということをおそろしいです。とて

も熱い中で水を求めている人々を考えると悲しいです。

原爆はとてもおそろしい、とてもこわい、この世の中に原爆があってはならない、平和な世の中でありたいと思います。被害を受けた人々の思いを感じながらこの世の平和をよりよく考えて行こうと思います。

…………… 団員—木崎 章夫さん(農団労 上伊那労組)

今回、連合平和行動に息子と二人で参加し、初めて広島に行きました。戦争・原爆は歴史の授業で学んだ内容と、小学校の時読んだ「はだしのゲン」だった私は、原爆ドーム・平和祈念館の視察をする中で戦争の恐ろしさと悲しさを直接感じる事が出来ました。

息子としては、戦争の意味も良く理解せずの見学でしたが、原爆・戦争の恐ろしさを知った中で、世

界の最終核実験はまだ1年しか経っていない事を示す地球監視平和時計を見た際、まだ核実験をしている事がとても驚いた様子でした。また、海外からの見学者の多さにも驚いており、「原爆を落とした国・戦争をした国も広島に来るのか…」と、つぶやいていたのが印象的でした。

私たち戦争を知らない世代としては、やはり自分の目で見る事が大切と感じました。



集会会場での折鶴の献納

木造住宅

あなたの住まい、大丈夫ですか？

住宅診断実施中

長野県住宅生協×専門機関のパートナーシップで「安心・安全のための住宅診断」を実施しています！
まずはお気軽にご相談ください。

住まいは、不調であっても、声を出して訴えてはきません。

『住宅診断』は住まいの声をきくことです。

あなたのお住まいの声をきいてみませんか？

長野県労働者住宅生活協同組合

本部

長野県知事(10)2490号

TEL. 026-234-0283

〒380-0838 長野市県町523 ろうきんビル7F jyusei@avis.ne.jp

松本事務所

〒390-0841 松本市清1丁目2-1

TEL. 0263-88-5061

ホームページもご覧ください

長野県住宅生協 | 検索

http://www.jyusei.jp/

長崎
平和行動

……………**団員**—清水 正城さん(佐久地協・自治労 佐久市職員労組)

初日の連合2018平和ナガセキ集会、翌日の「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」では、被爆された皆さんの話を聞くことができ、非常に多くの犠牲者を生んだ戦争のことは、絶対に忘れてはならないと改めて考えさせられました。
テレビや新聞などを通して、なんとなく理解している

つもりでしたが、今回、実際に長崎を訪れ、貴重な体験をさせていただき大変感謝しております。また、機会があれば、次回は、広島での平和行動にも参加させていただければと思います。
これからは、今まで以上に、平和について意識しながら生活していきたいと思っています。

○**社会・地域へ拡げつなげる取り組み**

連合長野・各地域協議会では、平和パネル展や、学習会、視察会、また、北方領土返還要求長野県民会議との連携による署名活動などを通じて、社会・地域との連携を深める取り組みを行っています。今後も各地域・各団体との連携を通じて、戦争体験者の訴えや戦争の事実を広く発信する取り組みを継続していきます。

◆**平和パネル展**



もんぜんぶら座(8/2~8/8) 労金中野支店(9/19~11/2) 労金大町支店(9/19~11/2) 労金小諸支店(9/25~11/2)



労金諏訪湖支店(9/25~10/16) 労金伊北出張所(9/25~11/6) 労金飯田支店(9/25~11/6)

◆**各地域協議会での平和行動の取り組み**



8月3日上小地協



10月10日諏訪地協



10月21日木曾地協

◆**折り鶴献納**

構成組織・地協にご協力いただき42,660羽が集まりました



◆**北方領土返還要求の取り組み**

北方領土返還要求請願署名 84,554筆

全労済のマイカー共済 3つのステップ **見積実施中**

自動車総合補償共済

おかげさまで全労済は60周年を迎えました

であなたにピッタリの補償が見つかる!

① 基本補償 (人身傷害補償) (対人賠償・対物賠償) 最高 5,000万円 無制限 をおすすめ!

② お車の補償 (車両損害補償) 一般補償 をおすすめ!

③ 割引制度や特約を選びましょう 安心が広がる特約と共済掛金をおトクにする割引もご用意しています。無事故割引等級別割引率 最大22等級 64%割引

特約や割引制度を組み合わせると掛金をおトクに!

安心の特約はさまざまな場面であなただけをサポート!

特約や割引制度を組み合わせると掛金をおトクに!

- 運転者 年齢条件
- 子供特約
- 運転者本人・配偶者 限定特約
- 運転者家族 3%割引
- ハイブリッド車割引 7%割引
- 新車割引 普通・小型乗用車 -9%割引 軽自動車用車 -3%割引
- 無事故割引等級別割引率 最大22等級 64%割引
- 自動車賠償責任補償特約
- マイバイク特約
- 弁護士費用等補償特約

〈補償の重複についてのご注意〉
次の補償または特約を契約される場合、ご契約車両(補償自動車)以外にも自動車や二輪自動車(原付自転車)を含みます。以下のご文章において同様とします。●を所有され、その自動車や二輪自動車に、同様の補償を契約されているときは、またその被保険者またはそのご家族の補償が重複することがあります。
●人身傷害補償、バイク特約、対人賠償補償特約、自動車賠償責任補償特約、交通事故危険補償特約
●上記の補償や特約を契約のみにご契約されている場合、そのご契約が解約されたときやご家族の状況等が変わったときは、「補償されない」ことがありますので、ご注意ください。
●ご契約にあたっては、補償内容を充分にご確認いただくとともに、詳しくは全労済までお問い合わせください。

自賠償共済とあわせてのご加入をおすすめします。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

完成してこそ！
伝わるがあります

ループウイング風力発電キットの組立てに取り組む 20組の親子42人が 「第12回親子ものづくり教室」に参加

—金属部門連絡会—

7月28日、金属部門連絡会(相澤健弘部会長:連合長野副会長・電機連合)は、12回目になる「親子ものづくり教室」を上田市勤労者福祉センターで開催、今年は20組42人の親子が参加した。この「親子ものづくり教室」は、工場見学や工作を通じて労働の現場に触れ、親世代から子世代へ「ものづくり」に対する思いを伝えようと例年開催している。

今回のものづくり教室の目的と キット選定のポイント

家庭で使える再生可能エネルギーと言えば、太陽光パネルを貼りめぐらしたものが普及しており、一方で、風力発電は巨大な3枚の羽をもつ施設が一般的である。家庭でも使える小型風力発電機の開発も進められ、2006年度グッドデザイン賞を受賞したループウイング社の発電機は、3次曲面のループウイングは6枚羽とほぼ同じ面積があるため、低回転でも大きなトルクを発揮し、電気効率も高く期待が寄せられていることから、今回はタミヤ(株)の「ループウイング風力発電



タミヤ(株)風力発電キット

キット)を作ることとした。

去年は、とても難しいキットを選んではしまったため、多くの親子が予定した時間に完成せず、ものづくり教室の補習(?)が必要になった反省から、今回は、ネジ止めを中心にした体験から組み立てられるものとした。

でき上がったから分かる「学び」 「発電」⇒「蓄電」⇒「動力」の仕組み

昼食をはさみ、予定した時間内にすべての子どもたち

が作業を終えて、きちんと動作確認をすることができた。

子ども達からは「楽しかった」「きちんと動いて良かった」とあり、難易度を下げ、作業工程を簡易化したことで、最後まで諦めず完成させることができた。



親子の共同作業が一番大事!

また、アンケートには、『「風力発電」⇒「蓄電」⇒「模型動力」』など、発電の仕組みについても触れられており、多くの子どもたちが、自分たちの作るものの価値を正しく理解していることに意を強くした取り組みとなった。

連合長野は、引き続き、金属部門連絡会を中心として、長野県の基幹産業であるもの作りの大切さを次世代へ伝える取り組みを行っていく。



できたものを手にもって教室は修了

つみたてNISAで
資産づくり 2018年1月開始

つみたてNISAとは? ご本人・ご家族の将来に向けて、非課税でお金を育てる制度です。

つみたてNISA 3つのポイント

- POINT 1 非課税投資額は毎年40万円まで
- POINT 2 積立投資でコツコツと資産形成
- POINT 3 対象商品は販売手数料が無料

記載内容は2017年11月1日現在の税制・関係法令などに基づき記載しております。今後、税務の取扱いなどが変わる場合もございますので、記載の内容・数値などは将来にわたって保証されるものではありません。

R はたらく人の想いと生きる
長野ろうきん